赤い羽根共同募金

平成30年度　共同募金実績内訳

清水町内会(5,837)世帯 × 300円	1,751,100円
清水地区民生委員募金活動(485)軒	1,234,000円
清水地区民生委員　51名分	339,000円
清水地区社協関係分	来年度へ
合　計	2,985,100円

募金ありがとうございました

地域包括支援センターとは

＊高齢者の方々の身近な相談窓口です

◇高齢者の方が、住み慣れた環境の中で暮らし続けるための総合相談窓口です。
◇健康、医療、介護などなんでもご相談ください。
◇相談内容に関しては、秘密を堅く守ります。
◇相談は無料です。

名　称　松山市地域包括支援センター味酒・清水
住　所　松山市清水町3-15　清水小学校北校舎1階
受付日時　月～土8時30分～17時15分
電　話　(089) 911-1135
休　日　日、祝祭日、12月30日～1月3日

ふれあい教室　会員募集!!

		火		水	金		備考
午後	講座名	カラオケ		午前 茶道	コーラス	書道	＊教室の入会資格は六十歳以上です。会費は一ヶ月分です。祝日はお休みです。教室によっては、定員一杯の場合もあります。お問い合せください。
	時間	13:30~15:30		10:00~12:00	10:00~11:30	10:00~11:30	
	開催週	第1・2・3		第1・3	第1・2・3・4	第1・2・3	
	会費	￥1,000		お菓子代￥400 ￥1,000	￥1,000	本代￥700 ￥1,000	
	講座名	フラダンス	太極拳	午後 絵手紙	英会話		
	時間	15:30~16:30	15:30~16:30	13:30~15:30	13:30~15:00		
	開催週	第1・3	第1・2・3	第2・4	第1・3		
	会費	￥1,000	￥1,000	￥1,000	￥1,000		

お問い合わせは「清水地区社会福祉協議会」
TEL 916-9179

民踊の指導者 募集!!

毎日の生活で困ったことはありませんか？
●薬取り　●買い物
●掃　除　●話し相手

協力会員募集のお知らせ

清水地区社会福祉協議はボランティアに興味をお持ちの方、地域助け合い活動に参加してみようと思われる方を募集しております・・楽しく、明るく、ボランティア活動で人助けをしませんか。

お問い合わせは　清水地区社会福祉協議会　援護部長　片岡　俊則　TEL

福祉講座開催のお知らせ

参加無料

身体障害者補助犬（盲導犬・介助犬・聴導犬）のこと知っていますか？
今回、ご一緒に勉強してみませんか。

日　時　5月10日（金）　14：00～15：00
場　所　いきがい交流センターしみず2F
題　目　「もっと知ってほしい補助犬のこと」
講　師　ドッグフォーライフジャパン　砂田　眞希 様

申込先　清水地区社会福祉協議会事務局

申込み〆切　5月5日

編集後記

やわらかい風が頬をなでる季節、夢と希望に満ちた新しい生活が始まる季節です。何歳になっても、この季節はワクワクします。
四月二十一日には、「しみず祭」が開催されます。新企画もあります。
外出にはとても良い時期です。
皆様、お誘いあわせの上、足を運んでみませんか。又、清水地区にある三つの小・中学校の特色ある活動も紹介させて頂きました。

啓発調査部長
稲見　敦子

第60号 しみずの福祉だより

清水の現況（平成31年2月1日現在）

人口	22,591人
65歳以上	5,644人
人口比率	24.98%
世帯数	12,880世帯
一世帯平均	24.98%

（住民基本台帳による）

編集・発行　清水地区社会福祉協議会　会長 浅山 幸男

第17回 しみず祭　4月21日㊐開催

いきがい交流センターしみず

ふれあい教室、友遊しみず、清水小学校トーンチャイムクラブによる発表を下記のプログラムで開催いたします。
展示・体験コーナー・新企画としてこども服のおさがり交換会やトーンチャイム体験コーナーもあります。
バザーは、例年通り行います。
多数の皆さまのご来場を関係者一同お待ちしております。

プログラム　校内禁煙

開会式	10:00～10:20
（この街で合唱）	
1. コーラス	10:20～10:35
2. トーンチャイム（・友遊しみず ・清水小学校トーンチャイムクラブ）	10:45～11:05
3. フラダンス	11:05～11:20
4. 太極拳	11:20～11:35
5. 絵手紙・英会話 介護予防相談コーナー	11:00～13:00
6. カラオケ	11:35～14:00
7. こども服おさがり交換会 トーンチャイム体験コーナー	12:00～14:00
閉会式	14:00～14:10

交流室①
●開会式　10:00～10:20
●コーラス　10:20～10:35
●体　験　11:00～13:00
・・・絵手紙・英会話・・・
●介護予防相談コーナー

交流室②
●お茶会
10:30～12:30
お茶券
1枚・￥200

センター2階廊下
●展　示
絵手紙
書道
英会話
「友遊しみず」交流写真展

食堂は『はつらつルーム』です

バザーメニュー

うどん	￥250	抹茶（お菓子付）	￥200
いなり寿司（3コ）	￥200	コーヒー（お菓子付）	￥100
おはぎ（3コ）	￥200		

食券引換えは13:30までです。

■食券はいきがい交流センターで販売しております。
■当日券は体育館横で販売しています・・数に限りがありますので、お早目に・・

こども服おさがり交換会

●清水小学校北校舎1F・・にこにこ教室
12:00～14:00

トーンチャイム体験コーナー
●清水小学校北校舎1F・・東廊下にて
12:00～14:00
大人も子供も参加OK!!お菓子もあるよ!!

はつらつルーム
発表会　10:45～14:00
＊トーンチャイム
＊フラダンス
＊太極拳
＊カラオケ

介護予防相談コーナー
11:00～13:00
＊地域包括支援センター 味酒・清水による＊
高齢者やご家族の介護の相談や申請のお手伝い
健康相談・血圧測定・足指力測定などを行います。

祝！創立90周年 ―― 清水小学校

昭和３年11月３日に創設した清水小学校は、空襲や火災に襲われて焼け落ちたこともありましたが、無事に今年90周年を迎えることができ、様々な記念行事を行ってきました。

運動会では昔懐かしいくす玉割りや卒業生チーム参加のPTA種目。卒業生の市長さんも駆けつけてくれたふれあいバザーでの写真展やもちまき。児童が考えた人文字デザイン画による航空写真撮影と記念下敷・紅白まんじゅうの配付等です。巡り合わせと運がよくないと周年行事に携わることはできません。平成最後の年に90周年を迎える幸運に感謝しながら、歴史を紐解く作業は楽しいものでした。

創立90周年を区切りに、これからも100周年を目指して、清水小学校は新たな歴史が始まります。乞うご期待です。

共に生きる～福祉体験学習～ ―― 姫山小学校

４年生は、総合的な学習の時間「共に生きる」で、福祉体験学習をしています。12月は、済生会姫原特別養護老人ホームの協力を得て、高齢者体験をしました。車椅子体験では、車椅子に乗っている人と介助している人の気持ちが合わないと危ないこと、装具を着用して階段を歩行する体験では、思い通りには体が動かないことを実感しました。２月には、松山市地域包括支援センターより講師をお迎えし、認知症サポーター養成講座を行いました。認知症の方にどのように接していけばよいかを考える中で、周りの人が、認知症の方の不安な気持ちや何に困っているのかを感じ取ったり、助けたりすることが大切ということを学びました。この後も、点字の学習や松山盲学校との交流学習が行われます。これらの学習から、相手を思いやる大切さを学ぶとともに、地域社会で様々な人と関わりながら、共に生活していくことの大切さを理解しました。

勝山フェスティバル ―― 勝山中学校

平成最後の『勝山フェスティバル』は、平成30年8月25日(土)に開催されました。清水公民館をはじめ諸団体、清水小学校、姫山小学校、PTAなど多くの皆さんのご支援とご協力で本年度も無事に終えることができました。昨年の夏は、記録的な高温になり、９月にかけて台風等の災害が続きました。そんな中、盛大に開催できたことに関係の皆様に感謝するとともに、参加していただいた方々の笑顔を見て、大変うれしくなりました。

勝山フェスティバルでは、テント26張り、長机111個、パイプ椅子314個の準備と片付けを生徒たちが行いました。昨年は雨の心配はしなくてよかったのですが、猛暑の中での活動となり、大変な準備と片付けとなりました。しかし、生徒たちは手の足りていないところを手伝いながら、黙々と作業をしてくれました。

体育大会や廉売会の準備活動でも、同様な生徒の姿を見ました、これまで勝山中学校の生徒をこのように育てていただいた地域の皆様に心より感謝申し上げます。今後とも子どもたちの健全育成にご協力とご支援をお願いいたします。

まだまだ現役です！

村上博毅

♬ みかんの花が咲いている思いでの道　丘の道・・各種施設訪問先での交流会。

車椅子の人、介護士と手をつないで部屋に集まる人など。施設利用者の人たち、介護士の方々との合唱でのスタートである。

ボランティアグループに入会し既に二十年を超えようか。

今、そのグループ長としてクラブメンバー共々に月一回程度、市内各地の施設を訪問している。

メンバーによる歌、踊り、三味線の弾き唄、玄人はだしの安来節（どじょうすくい）の踊りなど、バラエティに富むグループとして好評である。プログラムの中で特に楽しみなのは、施設利用者にお願いしての歌などのご披露である。

年齢なりに昔の歌、意外にも新しい歌など、一生懸命に歌ってくれるその姿には、唯々感動、胸の熱くなる思い。

どちらの施設でも、交流会の時間はおおよそ九十分以内。まさにあっと言う間である。

別れはお集まりの方々と我々メンバーとの握手と一言の挨拶。

大きい手、小さい手、冷たい手、そして温かい手、手を離さず「今日は嬉しかったわい。なあ、また来てよ、待っとるけんなあ・・・」

この言葉を心にとどめ、改元二年目七回の年男となる自分だが、健康に留意し、ボランティア活動に頑張ろうと願っている。

語り継ぎたい ふるさと松山の心 2

高橋一洵 ―山頭火の最後を見守った松山商科大学の名物先生―

高橋一洵の洵は俳号。本名は始（ハジメ）。明治三十二年四月一日、父一筍斎（イチジュンサイ）と母チヨノの二男として、松山市杉谷町（現・緑町）に生まれました。

一洵の句碑が、城北の長建寺にあります。

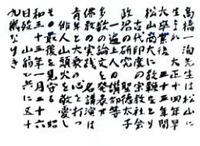
「母と行くこの細道のたんぽゝの花」

この句碑の横の副碑には、「高橋一洵先生は松山に生れ、大正十四年早稲田大卒業後、三十三年間松山商大で教鞭をとり、古代印度の宗教社会政治の研究、聖徳太子、一遍上人の讃仰など多数の論文を発表す。佛教の実践　名講演は青年と大衆の心を打つ。俳人山頭火を敬愛してその最後を見守る。昭和三十三年一月二十六日没、山翁と共に五十九歳なりき」とあり、一洵の生涯を簡潔に記しています。

この副碑にあるように松山に来た晩年の山頭火（昭和十四年十月一日来松）の世話をし、終のすみかである「一草庵」を与えたのも、一洵を中心とした仲間たちでした。

山頭火は一草庵に入居した日の日記に次のように記しています。

母と行く　この細道の　たんぽゝの花　一洵　長建寺



一洵君へ
落ちついて
死ねそうな草枯るる
山頭火　一草庵

「真摯と温和で心からいたわって下さる一洵君、物事を苦にしないで何かと庇護して下さる藤君（筆者註　藤岡政一のこと、政一の息子さんが現在のまつやま山頭火倶楽部理事長の藤岡照房さん）等々、そして君らの夫人。

私は感泣してすなほにつゝましく私の寝床をここにこしらへた。」私は松山に来た山頭火を、家族をあげて歓待し、一草庵まで世話をする一洵や政一の行為に驚嘆するのです。

今回は一洵の菩薩のような心を記してむすびにしたいと思います。

太平洋戦争中、松山は度々、空襲にあいました。多くの家が焼けてしまいましたが、杉谷町の一洵の家は残っていました。一洵は家を失った友人、親族、松山高商（のちの松山商科大学、現・松山大学）の古川教授の家族など、いつも三十名ばかりの人を同居させていました。学校から追放されかねない学生を同居させたこともあったそうです。

一洵はどうしていたか、一洵は家の小さな庭の片隅にあった炭小屋に畳を敷いて、寝転んでいました。

こんな人が本当にいたのです。

一洵の「妙好の花」のような生き方を、私は「一洵がゆく」にまとめてみました。

：自費出版・現在絶版・県立図書館・松山中央図書館・中島図書館で貸し出し可：

一洵の墓は千秋寺にあります。

松山市教育研修センター　顧問　金本　房夫